



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



交通死亡事故現場診断に参加！

三島地区

実施日時：令和6年6月14日（金）10:00～11:00
実施場所：田方郡函南町畑地先の伊豆スカイライン

参加者：静岡県警察本部交通企画課、道路公団東部管理センター（道路管理者）、函南町役場、函南町交通指導員会、地元自治会（畑自治会）、伊豆スカ事故ゼロ小隊等 計15人が参加
三島地区安全運転管理協会からは工藤事務局長が参加

概要：本年5月26日（日）函南町畑地先で発生した交通死亡事故を受けて、三島警察署は6月14日（金）交通関係団体に呼び掛けて現場診断を実施しました。

同死亡事故は、同日午前10時00分ころ、函南町畑地先の伊豆スカイライン下り線6.2キロポストで、大型自動二輪車が箱根峠方向から葦山峠方面に進行中に、見通しの悪い左カーブで対向車線を走行していた普通乗用車と衝突し、二輪車を運転していた男性（50歳代）が死亡したものである。

三島警察署交通課長が事故の概況を説明し、各団体が現場の状況を確認して現場診断を行いました。

その後、事故防止対策について協議し、

○ 事故現場の状況を確認すると、二輪車の速度超過が原因と考えられる。付近には「速度落とせ」等の注意看板はあるが、小さくて見えにくい。信号もなく速度が出やすい場所であるため、速度の出し過ぎについて注意喚起する目立つ注意看板や「急カーブ速度落とせ」等の道路標示を設置した方がよい。

○ 伊豆スカイラインは二輪車がよくツーリングをする道路である。今回の事故で亡くなった男性がプロテクターを着装していたかどうかは分からないが、伊豆スカイラインの料金所に「二輪車はプロテクターを着装しよう」等の注意文を貼りだしてはどうか。

などの意見が出されました。



【事故現場の状況】



【事故防止対策について検討】

清水地区

実施日時：令和6年7月9日（火） 10:00～10:40
実施場所：静岡市清水区押切地先 路上

参加者： 清水警察署、地元自治会、道路管理者、清水区地域総務課、交通安全協会、安全運転管理協会など19人が参加
清水地区安全運転管理協会からは、**苺和会長及び事務局長**が参加

概要： 事故は、6月13日（木）清水区押切地先の路上で発生した交通死亡事故で、自転車に乗った高齢女性が歩道に乗り上げた際、前方の消火栓を表示する支柱に接触、車道側に転倒したところを大型トラックと衝突したもの。

現場診断では、事故発生時の状況等について説明を受け、発生現場を確認したのち、問題点や改善方策などについて討議を行いました。

苺和会長は、「各事業所に、高齢者の運転する自転車の急な転倒、飛び出しなどの危険性について注意喚起し、従業員とその家族が交通事故に巻き込まれることのないように呼び掛けていく」などと安全運転管理の推進を約束しました。



島田地区

実施日時：令和6年7月8日（月） 14:00～14:20
実施場所：島田市元島田9228番地の3地先 市道

参加者： 島田警察署、静岡県警察本部交通企画課、地元自治会、島田市、静岡県土木事務所、交通安全協会、地域交通安全推進委員、**島田地区安全運転管理協会（岡本廣一会長、事務局長）**計16人

概要： 6月22日午前0時45分頃、島田市元島田の市道において、50歳の男性会社員の普通乗用車と52歳の男性歩行者が衝突した交通死亡事故について、事故発生時間帯における事故状況、事故現場における問題点などの検証を行いました。

夜間照明が確保された交差点での事故であり、警察として取り締まりの強化や運転者への交通安全ルール徹底を指導啓発していくことなどの意見が出されました。



藤枝地区

実施日時：令和6年6月11日（火） 14:30～15:00
実施場所：藤枝市南駿河台二丁目7番18号地先 路上

参加者：警察本部、藤枝警察署、地元自治会、藤枝市役所、関係機関・団体の関係者23人が参加（当地区安全運転管理協会からは、**藁科会長、事務局長の2名と本年度の安全運転管理推進事業所である(株)東名自動車学校及び特別養護老人ホーム開寿園の安全運転管理者らが参加**）

概要：令和6年5月17日（金）午後2時30分ころ、藤枝市南駿河台二丁目7-18地先路上で発生した交通死亡事故（軽四乗用自動車「20代男性」×自転車「70代女性死亡」）の事故現場診断を実施しました。

現場は、地元住民が生活道路として利用する市道で、道路に一時停止等の規制はないものの住宅街で、見通しの悪い交差点であった。

参加者からは、

- 地元の住民しか通らない生活道路で一時停止の規制もないが、徐行すべきだった。
- カーブミラー等の設備があるが経年劣化で曇りも認められ、ミラーの大きさも小さく死角が生まれたのではないか。
- 自転車乗車には「ヘルメット」の着用をもっと指導・広報啓発していかなければならない。
- 自転車も車両でありマナーの向上も必要などの発言がありました。



【事故現場：車両進行方向】



【現場診断の状況（藁科会長）】



【現場診断の状況（開寿園）】



【現場診断の状況（東名自動車学校）】

掛川地区

実施日時：令和6年6月5日（水） 14:00～14:50
実施場所：掛川市高御所305番地の2地先 路上

参加者： 警察本部交通企画課、掛川警察署、掛川市役所、掛川市交通指導員、安協掛川地区支部、掛川地区安管役員（尾崎会長、田宮理事、水野理事、榛葉理事、高橋監事、川隅理事）・事務局長、JA掛川など 計37人

概要： 令和6年4月25日（木）午後10時20分頃、掛川市高御所地先の市道で発生した交通死亡事故を受けて、同種事故の再発防止策を検討するため、地元住民代表者や交通関係団体代表者等と共に事故現場を観察し、各方面からの意見聴取を行いました。

参加者からは、

- 交通死亡事故の現場を確認し、街灯が少なく事故当時は暗くて見えにくかった。
- 直線で勾配のある道路であり速度が出やすい等の事故要因があった。

など参加者から街灯の設置や道路上に視認が容易なペイントの要望等について意見があがりました。

